

LV 7800-01

リモートコントローラ

取扱説明書

目次

1.	はじめに	1
1.1	保証範囲.....	1
1.2	電源電圧について.....	1
1.3	商標について.....	1
2.	仕様	2
2.1	概要.....	2
2.2	特長.....	2
2.3	規格.....	2
2.3.1	コントロール.....	2
2.3.2	パネル面.....	3
2.3.3	背面端子.....	3
2.3.4	一般仕様.....	3
3.	各部の名称と働き	4
4.	使用方法	5
4.1	LV 5800/7800 の設定	5
4.1.1	バージョンの確認.....	5
4.1.2	IP Addressの設定.....	6
4.2	LV 7800-01 の設定	7
4.2.1	出荷時設定.....	7
4.2.2	PCから設定.....	8
4.2.3	LV 5800/7800 から設定	9
4.3	コントロール.....	10

1. はじめに

このたびは、リーダー電子の計測器をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。製品を安全にご使用いただくため、ご使用前に本取扱説明書を最後までお読みいただき、製品の正しい使い方をご理解の上、ご使用ください。

本取扱説明書をご覧になっても使い方がよくわからない場合は、取扱説明書の裏表紙に記載されている本社またはお近くの営業所までお問い合わせください。

本取扱説明書をお読みになった後は、いつでも必要なとき、ご覧になれるように保管してください。

1.1 保証範囲

この製品は、リーダー電子株式会社の厳密なる品質管理および検査を経てお届けしたものです。正常な使用状態で発生する故障について、お買い上げの日より1年間無償で修理を致します。

お買い上げ明細書(納品書、領収書など)は、保証書の代わりになりますので、大切に保管してください。

保証期間内でも、次の場合には有償で修理させていただきます。

1. 火災、天災、異常電圧などによる故障、損傷。
2. 不当な修理、調整、改造された場合。
3. 取り扱いが不適当なために生じる故障、損傷。
4. 故障が本製品以外の原因による場合。
5. お買い上げ明細書類のご提示がない場合。

この保証は日本国内で使用される場合に限り有効です。

This Warranty is valid only in Japan.

1.2 電源電圧について



電源プラグを商用電源に接続する前に、その電圧を確認してください。本器の使用電圧範囲は90～250Vです。使用電圧範囲内で、電源周波数は必ず50/60Hzの範囲でご使用ください。

1.3 商標について

Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

2. 仕様

2.1 概要

本器は LV 5800/7800 背面パネルのイーサネット端子と接続し、LV 5800/7800 を遠隔操作するものです。LV 5800/7800 と同様のパネル操作で、遠隔操作することができます。

2.2 特長

- **イーサネットによるコントロール**

本器はイーサネットを使用して、長距離の遠隔操作を可能にします。

- **本体パネルと同期した同一の操作**

本器は LV 5800/7800 のパネルと同様の操作になっており、パネルが延長されたイメージで使用することができます。また、LV 5800/7800 で操作された内容は直ちに本器に反映されます。

2.3 規格

2.3.1 コントロール

対応機種	LV 5800 (FW Ver. 6.3 以降) LV 7800 (FW Ver. 1.3 以降)
接続方式	イーサネット接続 Telnet による通信 (DHCP には非対応)
動作内容	コントロールコードの送信による、LV 5800/7800 のコントロール LV 5800/7800 から LED データの受信による、パネル LED の点灯
接続設定	
設定項目	IP Address Subnet Mask Default Gateway
設定方法	接続先の IP Address PC アプリ (付属品) から設定 接続先の LV 5800/7800 から設定
出荷時設定	V POS、H POS を押しながら電源投入
IP Address	192.168. 0. 2
Subnet Mask	255.255.255. 0
Default Gateway	0. 0. 0. 0
接続先の IP Address	192.168. 0. 1

2. 仕様

2.3.2 パネル面

キーLED	すべてのキーLEDを薄く点灯 選択されたキーLEDを明るく点灯 (LV 5800/7800の電源オフ時はすべて消灯)
電源LED	本器に電源が供給されているときに点灯
イーサーネットLED	本器に対応するLV 5800/7800との接続が確立されているときに点灯

2.3.3 背面端子

イーサーネット端子	
対応規格	IEEE802.3
入出力端子	RJ-45
機能	キーコードの送信、LEDデータの受信
種類	10Base-T/100Base-TX
USB端子	Bタイプ
規格	USB 2.0
機能	IPアドレスの設定

2.3.4 一般仕様

環境条件	
動作温度範囲	0~40℃
動作湿度範囲	85%RH以下(ただし、結露のないこと)
使用環境	屋内
使用高度	2,000mまで
過電圧カテゴリ	II
汚染度	2
電源	
電圧	AC 90~250V
周波数	50/60Hz
消費電力	8W max.
寸法	482(W)×44(H)×110(D)mm(突起部分含まない)
質量	1.2kg
付属品	電源コード..... 1 カバーインレットストッパー..... 1 PCアプリ(CD)..... 1 取扱説明書..... 1

3. 各部の名称と働き

3. 各部の名称と働き

各キーの説明については、LV 5800/7800 の取扱説明書を参照してください。

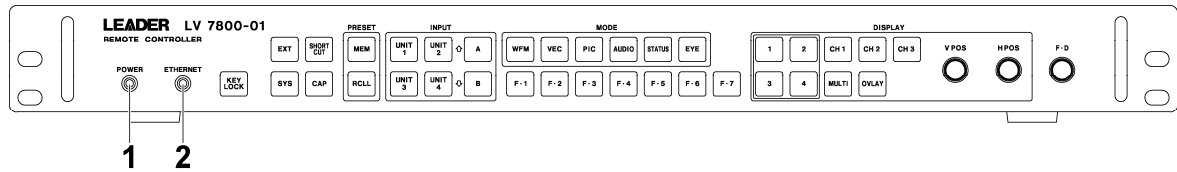


図 3-1 前面パネル

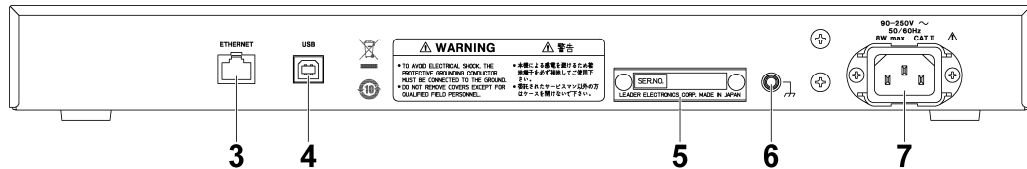


図 3-2 背面パネル

表 3-1 各部の名称と働き

番号	名称	働き
1	POWER LED	本器に電源が入っているときに点灯します。
2	ETHERNET LED	LV 5800/7800 との接続が確立されているときに点灯します。
3	ETHERNET	LV 5800/7800 と接続して、本器から LV 5800/7800 のリモートコントロールをします。また、LV 5800/7800 のキー操作が、本器に反映されます。
4	USB	PC と接続して、PC から本器の IP Address などを設定します。設定には付属の PC アプリ (IpAddressWriter) を使用します。
5	シリアル銘板	シリアル番号が刻印されています。
6	接地端子	外部のグラウンドと接続してください。
7	電源入力端子	AC 電源の入力端子です。

4. 使用方法

4.1 LV 5800/7800 の設定

4.1.1 バージョンの確認

本器から LV 5800/7800 をリモートコントロールするには、LV 5800/7800 のファームウェアバージョンが以下のとおりである必要があります。

表 4-1 LV 5800/7800 のバージョン

機種	ファームウェアバージョン
LV 5800	6.3 以降
LV 7800	1.3 以降

ファームウェアバージョンはシステム情報画面(下図参照)または起動画面で確認することができます。

ファームウェアバージョンが上記よりも古い(番号が小さい)場合、リモートコントロールできません。本社またはお近くの営業所までお知らせください。

SYS → **F・5** SYSTEM INFORMATION →

LV5800: MULTI MONITOR						
Board:0.0:1.1 Firmware:6.3						
UNIT1 : LV58SER01A SDI Input Unit						
Board:1						
UNIT2 : LV58SER02 EYE Pattern Unit						
Board:3						
UNIT3 : NONE						
UNIT4 : LV58SER40 Digital Audio Unit						
Board:0						
UNIT5 : NONE						
UNIT6 : NONE						
						up menu

図 4-1 システム情報画面

4. 使用方法

4.1.2 IP Addressの設定

LV 5800/7800 の IP Address を、ETHERNET 画面で設定します。以下の手順で設定してください。

1. **SYS** → **F-2** PLATFORM SETUP → **F-3** NEXT の順にキーを押します。
ETHERNET 画面が表示されます。

The screenshot shows the 'LV5800 ETHERNET SETUP' menu. At the top, there are tabs for 'GENERAL SETUP', 'ETHERNET', 'REMOTE', and 'LV7800-01'. The main title is 'LV5800 ETHERNET SETUP'. Below the title, there are two sections: 'Network Select' with options for 'DHCP' (unchecked) and 'IP' (checked), and 'Time Server Select' with options for 'ON' (unchecked) and 'OFF' (checked). Under 'TCP / IP', there are three input fields: 'IP Address' (192.168.0.1), 'Subnet Mask' (255.255.255.0), and 'Default Gateway' (0.0.0.0). Below these is the 'MAC ADDRESS' field (00:00:00:00:00:00). At the bottom, there are several buttons: 'COMPLETE', 'PREV', 'NEXT', and 'CANCEL'.

図 4-2 ETHERNET 画面

2. Network Select を IP に設定します。

本器は DHCP に対応していません。なお、LV 5800/7800 の出荷時は DHCP に設定されています。

3. IP Address を設定します。

LV 5800/7800 の出荷時は 192.168.0.1 に設定されています。本器が出荷時の設定の場合、この設定を使用すると「4.2 LV 7800-01 の設定」は不要となります。LV 5800/7800 と LV 7800-01 を 1 対 1 で接続する場合は、この設定のまま使用してください。複数の LV 5800/7800 をつなぎ換えてコントロールしたい場合や、任意の IP Address を設定したい場合は、ここで値を変更してください。

4. **F-1** COMPLETE を押します。

設定が確定されて、システムメニューが表示されます。

5. 電源を入れなおします。

イーサネットの設定は電源を入れなおしたときに有効になります。「手順 2」、「手順 3」で値を変更しなかった場合、この操作は不要です。

4. 使用方法

4.2 LV 7800-01 の設定

本器を LV 5800/7800 と接続する前に、以下の項目を設定する必要があります。

- IP Address
- Subnet Mask
- Default Gateway
- 接続先の IP Address

これらの項目は、付属の PC アプリを使用して PC から設定しますが、本器と LV 5800/7800 の接続が確立されている場合、LV 5800/7800 から設定することもできます。

なお、LV 5800/7800 の IP Address が 192.168.0.1 で、本器が出荷時の設定の場合、本章の設定は不要です。「4.3 コントロール」に進んでください。

4.2.1 出荷時設定

本器の出荷時設定は以下のとおりです。

表 4-2 出荷時設定

項目	出荷時設定
IP Address	192.168. 0. 2
Subnet Mask	255.255.255. 0
Default Gateway	0. 0. 0. 0
接続先の IP Address	192.168. 0. 1

本器の設定を出荷時の状態に戻したいときは、V POS と H POS を同時に押しながら、電源を入れてください。

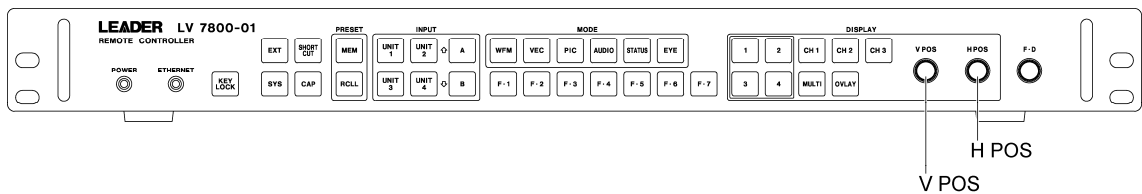


図 4-3 V POS と H POS

4. 使用方法

4.2.2 PCから設定

本器の IP Address を PC から設定するには、以下の手順で操作を行います。
なお、設定には以下の機器が必要です。お客様自身でご用意ください。

表 4-3 設定に必要な機器

必要な機器	備考
LV 7800-01	-
PC アプリ	付属品
PC	Windows XP または Vista、CD-R ドライブ
USB ケーブル	USB (A) オス-USB (B) オス

1. 本器と PC の USB 端子を USB ケーブルで接続します。

2. 本器の電源を入れます。

本器に電源スイッチはありません。電源コードを接続してください。

3. PC に付属の CD を入れ、IpAddressWriter.exe を起動します。

PC アプリ「IP Address Writer」が起動します。

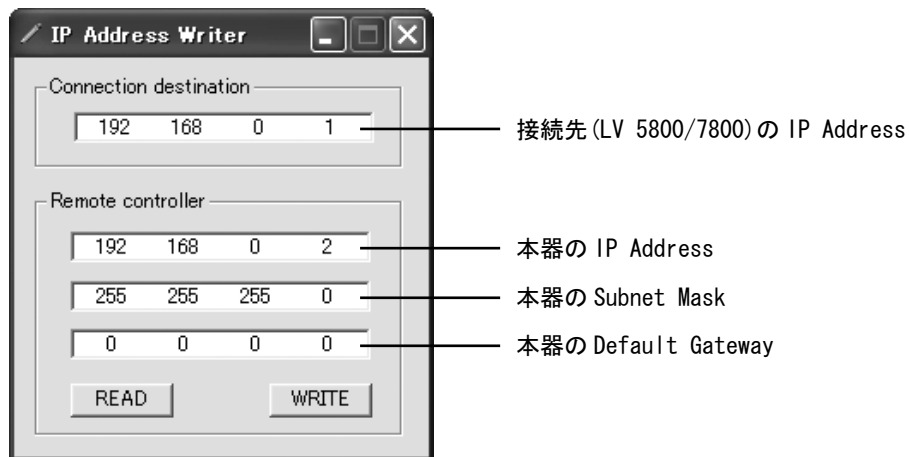


図 4-4 IP Address Writer

4. それぞれ値を入力してから、WRITE を押します。

READ を押すと、現在の本器の設定を読み出すことができます。

4. 使用方法

4.2.3 LV 5800/7800 から設定

本器と LV 5800/7800 の接続が確立されている場合、本器の IP Address は LV 5800/7800 から設定することができます。ただし設定を変更した時点で、本器と LV 5800/7800 の接続は切断されますので注意してください。この設定は、複数の LV 5800/7800 をつなぎ換えてコントロールしたい場合などに行います。

本器の IP Address を LV 5800/7800 から設定するには、本器の ETHERNET LED が点灯した状態で、以下の操作を行ってください。

1. **[SYS]** → **[F.2]** PLATFORM SETUP → **[F.2]** PREV の順にキーを押します。

LV7800-01 画面が表示されます。本器と LV 5800/7800 の接続が確立されていない場合、この画面は表示されません。

GENERAL SETUP	ETHERNET	REMOTE	LV7800-01
LV7800-01 Connection Change			
Remote Controller <input checked="" type="checkbox"/> ON <input type="checkbox"/> OFF		Connection destination <input checked="" type="checkbox"/> ON <input type="checkbox"/> OFF	
LV7800-01		Other LV5800/7800	
IP Address		IP Address	
192 . 168 . 0 . 2		192 . 168 . 0 . 1	
Subnet Mask			
255 . 255 . 255 . 0			
Default Gateway			
0 . 0 . 0 . 0			
COMPLETE	PREV	NEXT	CANCEL

図 4-5 LV7800-01 画面

2. それぞれ値を入力します。

Remote Controller は本器の設定、Connection destination は接続先 (LV 5800/7800) の設定を表しています。OFF に設定するとデータを送信しません。片方の設定のみを変更したい場合に、送信しない方を OFF に設定してください。出荷時は両方とも ON に設定されています。

3. **[F.1]** COMPLETE を押します。

[F.1] COMPLETE を押した時点で、設定が適用されます。本器と接続できる LV 5800/7800 が存在しない場合、再び LV 5800/7800 から本器の設定はできません。値を間違えて送信したときなどは、本器の設定は PC から行ってください。

4.3 コントロール

本器から LV 5800/7800 をリモートコントロールするには、以下の手順で操作を行います。

1. 本器と LV 5800/7800 の電源を入れます。

本器に電源スイッチはありません。電源コードを接続してください。本器に電源を入れると、POWER LED が点灯します。

2. 本器と LV 5800/7800 のイーサネット端子を、イーサネットケーブルで接続します。

イーサネットケーブルは付属していません。お客様自身でご用意ください。

本器と LV 5800/7800 の接続が確立すると、ETHERNET LED が点灯します。ETHERNET LED が点灯しない場合は、「4.1 LV 5800/7800 の設定」と「4.2 LV 7800-01 の設定」を再度確認してください。

なお、イーサネットケーブルを取り外しても、ETHERNET LED はしばらく点灯したままとなります。

● コントロール

ETHERNET LED が点灯しているとき、本器から LV 5800/7800 をリモートコントロールすることができます。

また、LV 5800/7800 を直接操作することも可能です。このときは LV 5800/7800 のキー操作が本器に反映されます。

● 注意点

- ・ 本器 1 台から、同時に複数の LV 5800/7800 をコントロールすることはできません。(LV 5800/7800 に複数の本器を接続して同時にコントロールすることは可能です)
- ・ 本器に USB メモリー、ヘッドホンは接続できません。
- ・ 本器から LV 5800/7800 の電源オンオフはできません。
- ・ 本器と LV 5800 を接続したとき、本器の KEY LOCK キー、SHORT CUT キーは無効です。
- ・ 本器と LV 7800 を接続したとき、本器からヘッドホンのボリューム調整はできません。

Following information is for Chinese RoHS only

所含有毒有害物质信息

部件号码: LV 7800-01



此标志适用于在中国销售的电子信息产品, 依据2006年2月28日公布的《电子信息产品污染控制管理办法》以及SJ/T11364-2006《电子信息产品污染控制标识要求》, 表示该产品在使用完结后可再利用。数字表示的是环境保护使用期限, 只要遵守与本产品有关的安全和使用上的注意事项, 从制造日算起在数字所表示的年限内, 产品不会产生环境污染和对人体、财产的影响。产品适当使用后报废的方法请遵从电子信息产品的回收、再利用相关法令。详细请咨询各级政府主管部门。

产品中有毒有害物质或元素的名称及含量

部件名称 Parts	有毒有害物质或元素 Hazardous Substances in each Part					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
实装基板	×	○	○	○	○	○
主体部	×	○	○	○	○	○
开关电源	×	○	○	○	○	○
线材料一套	×	○	○	○	○	○
外筐	○	○	○	○	○	○
附件	○	○	○	○	○	○
包装材	○	○	○	○	○	○

备注)
○: 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T11363-2006 规定的限量要求以下。
×: 表示该有毒有害物质或元素至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求。

LEADER

リーダ一電子株式会社 <http://www.leader.co.jp>

本社・国内営業部 〒223-8505 横浜市港北区綱島東 2 丁目 6 番 33 号 (045) 541-2122 (代表)